

# 競技進行方法について

1. 競技は日本バドミントン協会の現行規則に従って行います
2. 団体戦の方式
  - ① MD,LD,MS,LS,Mixの5組でチームを構成する
  - ② トップリーグは6チームを3チームずつの予選リーグ、上位2チームで決勝トーナメント、また3位チーム同士で残留決定戦を行う。セカンドリーグは5チームでリーグ戦とする。
  - ③ LD,LS,Mix,Ms,MDの順に行い(女子先行)、5組完遂とします。重複不可。
3. ポイント  
全試合21点3ゲーム、延長は2点リード、最大30点まで。
4. 審判
  - トップリーグ
    - ・予選リーグは主審線審とも待機チーム、共用コートでの線審本部から出します。決勝T準決①②は予選3位のチームが線審、主審は市川Uメンバー。
    - ・優勝決定戦、残留決定戦は決勝T準決①②の敗者の2チームが線審。主審は市川Uメンバー。
  - セカンドリーグ  
主審は待機チーム  
専用コートでの線審は当事者チーム  
共用コートでの線審は本部から出します
5. リーグ戦順位決定基準
  - (1)チーム対戦勝ち数
  - (2)得失マッチ数差
  - (3)得失ゲーム数差
  - (4)得失点数差
  - (5)当事者対戦勝者
  - (6)本部協議
6. オーダー票は左右同一に書き、切り離さずに前試合のMS終了前に提出。選手名欄の( )は本日追加された選手を起用する場合に使用します。
7. 試合中の怪我により棄権する場合、チームとしての棄権負けとはせず、そのマッチのみ棄権負けとします。  
また以後のチーム対戦で人数不足の場合は、不足する男女の種目をオープンで負けとし、オーダー票は代理選手に○をつけて下さい。相手にも事前周知するので本部には早めに通告のこと。  
(男1人不足はMS、女1人不足はLS、男2人不足はMD、女2人不足はLD、男女各1人不足はMixがオープン負け)  
3人以上の不足はチームとして棄権負けとします。試合は臨機応変。
8. 表彰  
各リーグ優勝チームに、賞状と賞品を授与します  
また記念撮影し、来年度の本大会プログラム表紙に掲載します
9. 背面  
各都市区名の背面・ゼッケン着用をお願いします
10. スポーツ保険  
本大会の1日保険には入っていません。各自の保険をお願いします。
11. コートサイドでの動画撮影は禁止です。個人使用目的撮影は観覧席からのみ可能。
12. ごみの持ち帰りをお願いします。
13. 飲食は観覧席で。コートサイドでは蓋つきの飲み物だけ可。